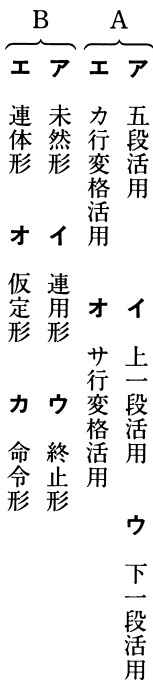


① 次の各文の——線の動詞の活用の種類をAから、活用形をBから、それぞ
れ選びなさい。

- (1) 僕は懸命に走りました。 (A) () (B) ()
 (2) 急ぐので、これで失礼します。 (A) () (B) ()
 (3) 弟は母によく似ていると言われる。 (A) () (B) ()
 (4) もう少し勉強すれば成績も上がるのに。 (A) () (B) ()
 (5) 次の試合で兄は負けると思います。 (A) () (B) ()
 (6) 彼は六時ごろに来よう。 (A) () (B) ()
 (7) この薬はそれほどしみない。 (A) () (B) ()
 (8) 早く帰れと言われても、困る。 (A) () (B) ()



② 次の各文の——線の助詞と意味・用法が同じものを、それぞれあとから選
びなさい。

- (1) 不注意からかぜをひく。
 ア 酒は米からつくる。
 イ 先生からかわる。
 ウ ちよつとした油断から大敗する。
 エ 東京から大阪に向かう。
 (2) クレジットカードでかい物をする。
 ア 腹痛で体育を見学する。
 イ 感想文など三時間でかける。
 ウ 携帯電話で兄と連絡をとる。
 エ 東京駅でか待ち合わせをする。

(3) 親友にさえ見はなされてしまった。

- ア ライオンさえ象には手出しをしない。
 イ この番組さえ見ればもういい。
 ウ せきがひどいのに熱さえ出てきた。
 エ 朝食はくだものさえあれば満足です。
 (4) 弟は漫画ばかりか読んでいる。
 ア 母は今帰つたばかりです。
 イ 一時間ばかりここで待っていてくれ。
 ウ 父は朝から泳いでばかりいる。
 エ 読み終えたばかりの本を友だちに貸す。
 (5) 私はうなずきながらほえんだ。
 ア 見ていながら見ないふりをする。
 イ 彼は小さいながら力はある。
 ウ 実力がありながらなかなか勝てない。
 エ 母はテレビを見ながら料理をする。
 (6) だれか私の宿題をやつてくれないかしら。
 ア 本当に彼は来るかしら。
 イ 早くバスが来ないかしら。
 ウ 今年の夏は暑いかしら。
 エ あの靴はどこにしまったかしら。